



<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	32件	32,000円	261件	307,132円
財団	1件	10,000円	6件	81,000円
ベネファクター	0件	0円	0件	0円
米山	0件	0円	8件	105,000円

**本日のプログラム**

<委員会報告>

国際奉仕委員会

阿久澤委員長

ラオスでの行動別表の説明をいたします。



9/20(日) 羽田からラオス、ビエンチャンへ。

現地先発のKADVOと合流、設営準備、手伝い。

シーワッタナー小学校へ向かう。

9/21(日) ボランティア活動。活動終了後、歯科部長ソンボン先生、または副部長トンサバン先生、KADVO、当クラブメンバーで記念撮影と贈呈式。

9/22(日) ビエンチャンからタイへ移動。

9/23(日) 赤本、阿久澤と合流。反省会の予定。

9/24(月) タイより帰国

\*ラオス現地での活動として

児童の誘導・洗い物・記録の補助・会場の設営片付け・診療の補助・滅菌作業の手伝い等。

現地に寄付した診療チェアが無事届きました。当初かかる予定だった税金も免除となったそうです。また今回はドクター18名、歯科衛生士2名、その他当クラブのメンバー含め総勢29名の参加です。ご協力よろしくお願いたします。

米山奨学委員会

嶋委員長

役員紹介、蓑田ガバナ一、斎藤ロータリー米山奨学理事の挨拶があり、高橋米山奨学委員長より、今年度のテーマ『理解から架け橋に、そして世界平和』を掲げられました。



高橋委員長からは、今年度の活動方針とクラブ委員長へ①米山事業の目的が世界平和であることが理解され寄付文化が成熟してきた。②来日した留学生は34カ国、日本と世界をつなぐ架け橋となり世界平

和に貢献する国際奉仕事業である。③第2590地区の個人寄付が85.8%、個人平均寄付額が31,506円で日本一である。④今年度の個人寄付は一人5,000円以上、特別寄付は一人20,000円以上のお願いがありました。

石渡米山学友委員長より、米山学友委員会活動方針と卓話依頼についての話があり、第2590地区の学友数は841名、会員は50名とのこと。

楠美米山選考委員長から選考委員会の活動方針と選考方法についての話がありました。米山事業は使命と特色に基づいた選考基準があり日本で最大の国際奨学事業です。2016年度地区裁量の選考基準と地区面接審査時の評価項目もあり、そうした中で第2590地区の割当は39名。継続者は10名、新規採用は29名です。当地区内の所在大学は28校、在籍する奨学生有資格者推定校は1,570名。推薦指定校を21校とし、採用者数29名に対し71名の推薦者を募集予定とのこと。米山記念奨学事業の価値は「どんな奨学生を採用したか」その成果は「どんな奨学生に育てたか」であると話されました。

橋田米山奨学金増進委員長からは活動方針とレポートの活用についての話があり、また学友の卓話者でもあった金艶華さんは医薬品の流通に関する研究をされていて、来月に当クラブに卓話にいらしていただく事となりました。

青少年奉仕委員長

古澤委員長

本日は青少年奉仕会議の報告ではなく、中国、瀋陽での展示会についてお話をさせていただきます。私も4回目の訪問ですが9月3日にちょうど滞



在しており、日本のテレビでは北京の様子を映し出していたかと思います。中国の瀋陽は川崎市と姉妹都市で、満州事変で日本が最初に制圧した入口の場所です。今回初めて9・18博物館に行く事となりましたが、何で日本が満州を侵略したかというよりも、日本人というにはこんなに悪い民族なんだ、帝国主義とはこんなに酷いんだぞという事しか書かれてなく、ビジネスでは交流がありますが、文化や人と人との交流を考えると、この博物館を見る限り中国と日本は決して交えることは出来ないのだなと感じました。